

各位

金蘭千里中学校

本校入学者選抜試験問題に関するお願い

昨今、教育現場における著作権の在り方が議論されています。本校も、著作権法に基づいた著作物の適切な運用と管理に取り組んでいます。

本校の入試問題の利用につきましても、下記の点にご留意いただき、適切なご利用をお願いいたします。

記

1. 本入試問題の著作権は、本校に帰属します。複製の作成は、事前に申告いただいた場合のみ許諾します。
2. 本入試問題で引用している文学作品等の第三者の著作物は、関係団体を通じて、引用の許諾申請を行っています。

以上

# 令和5年度中学入試

## [前期A・E 入試]

### 国語科 問題

#### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を含めて20ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。
4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

[前期A・E 入試] 受験番号 \_\_\_\_\_

金蘭千里中学校

① 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

狼おおかみのイーゼグリムはふたたび王のほうにむいて、訴うったえはじめました。

「王さま、このライネケめがどれほどの悪党か、嘘うそつきか、よくお考えください。とりわけ、わが一族をどんなひどい目にあわせて侮辱おこづしてきたか、わたくしはもう、がまんなりません。

ことに、わたくしの妻ギーレムントをはずかしめた悪行の数々、思い出すのもくやしいかぎりですが、お話しいたしますゆえ、どうかお聞きください。

へあるとき、ライネケは妻に魚が食いたい放題、いくらでも釣つれる方法を教えてやるともちかけました。そしてことば巧たくみに妻をさそつて池のまわりの泥沼どろぬまを歩かせ、やがて端はつこの水門近くに來ると、そこでしつぽをたれてじつとしていれば魚がいっぱい食いついてくると言つたのです。すなおでむじやきな妻はライネケのいうとおりにしました。もう陽ひがかげつてだいがたつていたところで、あたりは(Ⅰ)しんしんと冷えてきます。やがて池のおもてに氷がはりはじめました。冷たくて、寒くて、かわいそうに妻はもうがまんできないと思つたそうです。けれども、水につけたしつぽがだんだん重く、動かなくなるものですから、うれしい、魚が掛かかりだしたと思つて、一生けんめいがまんしていました。そのうちに池のおもてはすっかり氷がはつて、妻のしつぽはびくとも動かなくなつてしまつたのです。やつと毘むだど気づいた妻が引けどもがけど、しつぽはびくともしない。そこをライネケのやつめ、そばに寄つていつてにやにやしなから苦しむ妻にちよつかいをかけていたというんですから、これはもうなんとも腹立たしい。

妻は声をかぎりに、「たすけてー！」と叫なびました。ちようどそこへわたくしが丘かづぶたいに通とりかかつたのはまさに犬の助け、ライネケは大あわてで逃にげて行きました。わたくしは氷を割つて池にはいつていき、助け出そうと妻を引っぱるので、そのかたいことかたいこと。やつとの思いで抜ぬけたときには、かわいそうに、妻のしつぽは四分の一がちぎれてしまつていました。

やれやれと思つたのも束つかの間、なんと、むこうから妻の叫なび声を聞きつけた百姓ひやくしやうどもがおおぜい一団となつて走つてくるではありませんか。手に手にこん棒ぼうだの槍やりだのを持つて「やつつけろー、つかまえるー！」と大さわぎ。百姓たちの羊ひつがやられたのを妻のしわざだといもう夕闇ゆふぐが迫せまつていて、わたくしどもの姿を(β)かくしてくれたのでよかつたようなものの、そうでなければどうなつていたことか。とにかく、あんなに恐おそろしかつたことは後にも先にもありません。妻のギーレムントもそういつておりました。

王さま、①これはほんの例ですが、そういうことなのです」  
王は狼の訴えを聞くと、いった。

「わかった。しかしながら、これはライネケの言い分も聞かねばなるまいな」  
しめたとばかり、ライネケはさつそくまた(II)とうとうと述べたてた。

「そうでございます。イーゼグリムのいうとおりならば、このわたくしがどんな悪党かということになりますが、事實は全く別なのです。ええ、わたくしは親切にもあの女に魚の獲り方を教えましたよ。どのあたりから池にはいればよいか、どうやってしつぽをたらせばよいか、などですがね。ところが、わたくしが魚ということばを口にするが早いか、あの牝狼、やにわに駆けだして行って、しつぽを池につけたんです。食いしんぼうのあの女め、いいかげんところで引き上げればいいものを、欲にかられていつまでもそうしているものですから、とうとうこおりついたってわけなんです。欲張りは**ぼソソ**のもとというじゃありませんか。強欲で足を知らない者に、平安な生き方は無縁なんです。

あきれながらもあわれに思ったわたくしが、引き上げてやろうと冷たい氷のなかにはいつて、押したり引いたり、うんうんやっていたりやうどそこへ、亭主のイーゼグリムがやってきたというわけです。そしてあいつめ、礼をいうどころか**アツコウゾウゴン**、おれの妻にさわるなどとなって、いきなり襲いかかってきたではありませんか！ やっぱり狼ですええ。凶暴なことこの上もなし。わたくしはさつそく逃げましたよ。そうでなければ八つ裂きにされていたことでしょう。

ともあれ、自分の妻の恥になるようなことを声高にいい立てるとは、しかも嘘でかためてみんなの耳にいれるとは、いやはやなんともあきれるばかり。事実がどうであったかは、ちようどそこに本人が、イーゼグリムの妻ギーレムントがいるのですから、じかにお聞きくださいればよいのです。それとも、わたくしのいったことが嘘であるならば、ギーレムント本人が**dイギ**を申し立てればよいではありませんか」  
それを聞いたギーレムントは、ただちに声をはりあげていつのつた。

「なんということ！ あんたの口のうまいのには、あきれるばかり。ほんとうに人が悪いんだから。お人よしのわたしが、ほかにもどんな目にあつたか、ひとつみなさんに聞いていただきましょう。

井戸端のことです。ほら、(注)釣瓶がふたつある井戸ですよ。わたしがちようどそこを通りかかると、底のほうから声がするんです。ひよいとのおぞくと、なんとあのライネケさんが釣瓶のひとつにはいつて、底にいますではありませんか。『どうなさったの？』とわたしがたずねると、『おつ、ちようどいい。その上にある釣瓶にのつて下へおりていらつしやい。下には魚がいつぱい、いくらでも食べ放題だよ』  
つていうんです。わたしはほんとうにすなおで人を疑うなんてことはしませんから、すっかり信じてしまいました。だってね、魚を食べ過

ぎておなかが痛いんだなんて、そんなことまでいうんですもの。かわいそうにも思いましたね、わたしはさっそく上にあつた釣瓶にのりました。すると、とたんにスルスルスルとおりのはいいんですけれど、反対にライネケさんののつたもうひとつが上がつてくるじゃありませんか。わたしはわけがわからなくて、『いったいどういこと？』ってたずねると、こういったんです。『上がる者があれば、下がる者がある、これが世の道理じゃないかね？』つまりはそれぞれとんちの腕しだいってことさ』そしてお尻に帆をかけて逃げてしまいました。

底におりたわたしがそれからどうなったか、もう話すのもいまわしい。とうとうまる一日、井戸の底で嘆いていましたよ。(III) あげくの( )、夜になってやつと気がついた百姓たちが引き上げてくれたのはいいとして、盗まれた子羊の仕返しだとさんざん殴られました。こうしてまだ生きてるのがふしぎなほどです。むろん羊を盗んだのは狐のライネケなのに。ああ、思い出しても腹が立つ。②あんなに辛くて悲しかったのは、わたしの生涯でもはじめてですよ」

ライネケは悠然といった。

「いまの話は全くそのとおりです。だが、みなさん、考えてみてください。井戸の底におりてしまえば、だれか代わりにおりてもらわなにかぎりぜったい上がれないというのは理の当然。それがわからないのが情けない。底にいる者はなんとかして上がろうと工夫するのは当たり前じゃないですか。世の中すべてこんなもの、自分の身は自分で守るのが賢い者のすることです！ ギーレムントさん、痛い目にあつて、やつとすこしは賢くなられたんじゃないですか？」

妻のことをここまでばかにされて、イーゼグリムはもうがまんならず、憤然としていいはなつた。

「この争いは、弁舌の立つおまえを相手にはかなわぬ。口汚くののしりあつて、(IV) ( ) のつまりわが妻の名誉もまるつぶれだ。しかし、真実はあくまで真実。ライネケ、もう言い争うのは終わりにして、決闘で(V) かたを( ) よう。」

(ゲーテ作 上田真而子編訳『きつねのライネケ』より 一部改めたとこがある)

注 釣瓶……井戸から水をくみ上げるために、繩の両端に桶をつけた道具。

(一) 波線部 a～d のカタカナを漢字に直しなさい。

- a サイワ (い)      b ソン      c アッコウゾウゴン      d イギ

(二) 傍線部①「これはほんの一例ですが」とあるが、どのようなことか。例なのか。十八字で本文中から探し、最後の二字を抜き出さない。

(三) 2ページにある、へあるとき、く腹立たしい。の中から、ギーレムントが心の中で思っている箇所を三カ所探し、それぞれ本文に出てくる順番に抜き出し、最初の二字を答えなさい。

(四) 傍線部②「あんなに辛くて悲しかったのは、わたしの生涯でもはじめてですよ」とあるが、ギーレムントの言い分を具体的に述べた次の文章のへ A へ D へに入る言葉を、それぞれ自分で考えて答えなさい。ただし、へ A へ B へ D へはそれぞれ漢字二字の言葉で、へ C へはひらがな三字の言葉で答えなさい。

【井戸の底は魚が食べ放題だという言葉をへ A へしたのとライネケにへ B へする気持ちから釣瓶に乗ったが、途中でへ C へされたことに気づいて井戸の底で悲嘆にくれていたことと、助けてもらった百姓たちからも、ライネケが盗んだ羊を自分が盗んだことへ D へされてさんざん殴られたこと】

(五) 点線部 I 「しんしんと」 II 「とうとうと」の説明としてもっとも適切なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

I 「しんしんと」

- ア 身に深くしみとおるように
- イ ひっそりと静まりかえって
- ウ 尽きることなくわき出るように
- エ ゆっくりとしだいしだいに

II 「とうとうと」

- ア 水が流れるように
- イ 相手を打ち負かそうと
- ウ とても熱心な様子で
- エ 結局そうなるように

(六) 二重傍線部  $\alpha$  「思ったんです」  $\beta$  「かくしてくれた」とあるが、それぞれ「誰(何)」が「思った」のか、「誰(何)」が「かくしてくれた」のか。「誰(何)」に相当する言葉をそれぞれ四字以内で本文中から探し、抜き出しなさい。

(七) 点線部 III 「あげくの( )」、IV 「( )のつまり」、V 「かたを( )よう」はすべて慣用表現である。III  $\sim$  V の( )にそれぞれひらがな二字の言葉を入れて慣用表現を完成させなさい。

(八) イーゼグリムはギーレムントのことを、どのように評価しているのか。それに対してライネケはギーレムントのことを、どのように評価しているのか、七十五字以内で答えなさい。ただし、【…は…を、…と評価している。それに対して、…は…を、…と評価している。】という形で書くこと。

② 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

「ながらスマホ」なる言葉が定着しつつある。テレビを観ながら、ご飯を食べながら、歩きながら、電車やバスを待ちながら――、生活のあらゆる場面でスマホを手にする人が増えている。

むろん、目的があって使う人も多いだろう。メールの返信をしなくてはならないとか、調べたいことがあって検索するとか、「今、自分はこのためにスマホを使っている」と意識しながら使う場面は確かにある。

一方で、特に理由もなく使っている、なんとなくスマホをいじっていた、そんな状態も少なくない。たとえば電車を待つほんの数分の間、ただホームに立っているということがなく、スマホを取り出しては操作する。結果的にスマホを利用する時間が長くなり、しかも必要のないときにまで使うという状況に陥る。

MMD研究所がスマートフォンを所有する一五歳～五九歳（五五三人）を対象に行った①『2016年スマホ依存に関する調査』（二〇一六年五月）によると、一〇代の二一・六％、二〇代の二六・四％、三〇代では二一・八％が「かなり依存している」という自覚を持っていた。

さらに、「かなり依存している」人たちの約二割は、スマホの利用時間が「七時間以上」と回答した。

同調査で注目したいのが、「スマホ依存度チェック」である。どのようなとき、場面でスマホを使っているかを尋ねたものだが（複数回答）、もっとも多かった回答は「ちよつとした待ち時間にスマホをいじる」の六二・二％だ。いわゆる「すきま時間」にスマホを操作する実態が浮き彫りとなった。

また、「移動中、スマホを持ち歩きチェックしている」が三七・八％、「トイレに行くとき、必ずスマホを持っていく」が二二・八％、「食事中でもスマホを見ることが習慣になっている」が一五・九％と、まさに「ながらスマホ」が浸透している。

いったいなぜ、わずかなすきま時間を埋めたくなるのだろうか。無意識のうちにのめり込み、気づけば離れられなくなっている背景にどんな理由があるのか、いくつかのアンケートから探ってみよう。（中略）

『依存症のすべて』（講談社）など多くの著作を持ち、薬物やアルコール依存の問題に詳しい医学博士・廣中直行氏は、人がスマホにのめり込む理由として考えられるものを次のように解説する。

「私はスマホ依存の背景に大きく三つの要因があると思います。ひとつは手軽であること。次に身体感覚とマッチすること。さらに感覚への刺激が得られやすいことです」

廣中氏が挙げた三つの要因をそれぞれ説明していこう。まず「手軽である」ことについては、タバコやアルコールなどの依存を考えるのとわかりやすい。簡単に手に入る、つまり入手可能性が高いことは依存の大きな要因とされている。

廣中氏はかつて喫煙者を対象に②タバコを使った実験を行った。実験の目的は、人がどんなときにタバコを吸いたくなるのかを調べること。具体的には被験者がタバコを吸おうとする際、携帯電話に入っているアプリのボタンを押してもらい、時刻を記録した上でそのときの情景や気分を伝えてもらう。所要時間は三〇秒もかからない。

「タバコを吸うな」と要求したわけではなく、ワンステップ余計な手間がかかるだけだったが、たったこれだけで被験者の喫煙頻度はグンと減った。しかも、実験終了後のしばらくの間、喫煙頻度は下がったままだったという。

「このような状態は、喫煙に限ったことではないのです。たとえば食べ過ぎてしまう、過食という例でも同様です。袋を破り、手でつまんですぐに口に入れられるスナック菓子を食べ過ぎる人も、一個ずつ硬い殻を割らないと食べられないビスターチオのような食べ物の場合も食べる量が減ります。つまり手間を要すれば依存しにくくなりますが、逆にスマホのように簡単に使えるものはめり込みやすくなる。日常生活に深く浸透し、すぐに手に入るものを断ち切るのは実にむずかしいのです」

スマホは手のひらに収まり、しかも軽い。「手軽」という言葉がそのまま当てはまるだけでなく、日常生活のさまざまな場面で利用することが当然視されている。それこそ満員の通勤電車で喫煙や飲酒はできないが、スマホを使っても特に支障もなく、手軽さにプラスして「気軽」でもある。

一方、パソコンの場合はどうだろう。机の前に座り、電源を押ししたり、マウスの操作をしたりと一定の手間がかかる。トイレに持ち込む、歩きながら使う、片手だけで操作するようなこともむずかしい。③スマホが袋を破るだけで簡単につまめるスナック菓子だとしたら、パソコンは堅い殻のついたビスターチオと言えるだろう。

そう考えると、パソコンを使つての「ネット依存」よりも、「スマホ依存」のほうが対象者はより広くなる可能性が高い。日常生活に深く浸透したスマホは気づかぬうちに私たちを取り込み、bシンシンを壊すツールになっていくかもしれない。

二つ目の要因である「身体感覚とマッチする」ことについて、廣中氏はこう語る。

「スマホの操作は体の動き、特に指の動きと連動します。指で画面をタップ（軽く叩く）したり、スライド（横にすべらせる）することで簡単に使えるわけです。動作の記憶は脳内の線条体という場所に取り込まれ、意識しなくてもできるようになります。やがてその動作は、

日常的な習慣となつていきます」

指や手足など体の一部を使って行う動作が身に付くと、私たちはそれを意識せずに行うことができる。たとえば自転車に乗るという動作なら、一度ハンドル操作やバランス感覚を身に付けてしまえば、あとは特に意識しなくても乗りつづけることができる。

同様に、スマホも「指でさわったり押すだけで使える」ことが記憶されれば、それ以降は無意識のうちに使えるようになる。

「パソコンの開発初期段階では、操作するのにいちいち既定の（注1）コマンドを打ち込んでいたのです。その後、マウスで簡単に操作できるとなつて爆発的に普及していった。スマホはさらに進んで、指による操作で済みます。指の動きと連動してスマホが動く、これなら機械に詳しくない幼児や高齢者でも簡単に覚えられるし、誰でも習慣化していくことが考えられます。単に習慣になるだけなら問題とは言えませんが、スマホを使うと刺激や快感が得られやすい。おもしろい、楽しい、すごいことが起きるかもしれないと期待してしまう。すると単なる習慣では収まらず、もつと欲しい、やりたいという気持ちが大きくなつていきます」

依存症の本質は、「欲しい」と感じる強い要求だという。c センモンのには「強迫的な要求」と言うそうだが、激しい要求が起こり、それを自分の意思ではコントロールできない状況を指す。

スマホを利用する行為に対して、そこまでの強い要求を持つ人はそれほどいないかもしれない。d シタカがつて「依存症」とまでの状況ではないにせよ、一方でスマホがないと不安を感じ、利用に歯止めがかからない人も増えている。

先の調査でも、「スマホなしで一日過ごせない」、「スマホが身近にないととても不安になる」などの回答が一定数挙がっている。また、二〇代の三九・一%、三〇代の五五・五%の人が「外出時にスマホを忘れて取りに戻ったことがある」と回答している。

廣中氏によると、「スマホ依存に関してはまだはつきりわかっていませんが、ネット依存では薬物依存に比べて禁断症状の出る段階が早い」という。いったいなぜ禁断症状が早く出るのか、これは「つながっている」という感覚と関係しているようだ。

毎日使っていたパソコンが突然、不具合を起こしたとしよう。ネットにつながるが、作業中のデータが保存できない、そんな事態になつたらたいの人は焦りや不安を覚えるだろう。

ほかの仕事や作業を放り出してもまずはネット接続を回復させたい、パソコンを修復しなければ居てもたつてもいられない、こんな心理に陥る。いわば一時的な禁断症状に見舞われるのは、「ネット」常時つながっている」ことが当然の認知になつてきているからだ。

当然の状況がままならないことは、私たちに大きな不安を与える。不具合が起きている間に大切な情報を逃したらどうしよう、必要なメールを受信できずに信頼をなくしてしまうかもしれない、と焦るわけだ。

こうした不安こそ、④「スマホなしで一日過ごせない」という思いにつながっていくのではないだろうか。情報収集、連絡、スケジュー

ル管理、アドレス帳、交通案内など、日常生活に深く関わるものを一括管理しているからこそ、それらを失う不安もまた大きい。

アメリカの心理学者ジェームズ・ギブソンが作った「アフォーダンス」という心理学用語がある。英語の動詞アフォード (afford) 与える、できる) をもとにした造語だ。【 X 】

たとえば缶飲料の自動販売機の横に、二つの丸い穴が空いた箱があるとする。穴の前に「缶を入れる」と書かれていなくても、私たちは「あの丸い穴の中に空き缶を捨てる」、「この箱はゴミ箱だ」とわかる。これは「穴が空いている」という外界の環境」が、私たちに「捨てる」という情報をアフォード (与える) するからだ。

「アフォーダンスからスマホ利用を考えると、いちいち (注2) マニュアルなんか見なくても、画面に表示されたアプリのアイコンが、ここを押せ、と情報を与えてくれるわけです。つまりスマホは、一般的な機械や器具に比べて格段に直観的な使い方ができる。そういう意味でも身体感覚とマッチしやすいのです」

三日の要因は「感覚への刺激」である。スマホを使うことは、すなわち視覚や聴覚への刺激が得られること。メッセージが着信するたびに、画面には文字やイラストが表示され、通知音が流れる。私たちはそれらを見たり聞いたりして、実に多くの刺激を得ているのだ。

そもそも人間は、単調で刺激のない生活には耐えられないという。一九五〇〜六〇年代には、⑤人工的に刺激や感覚を遮断すること人間にどのような影響が出るかという心理学的な実験が、複数の研究者によって何度も行われた。

一九五六年、心理学者のウッドバーン・ヘロンがアメリカの科学雑誌『サイエンティフィック・アメリカン』に、次のような実験結果を発表した。高額の報酬を約束され被験者となった大学生たちが、ひとりずつ個室のベッドに寝かされる。部屋には防音装置があり、無音の状態だ。彼らはゴーグルのような半透明のメガネをかけ、腕には筒状の覆いを装着し、頭にはゴム製の枕を当てられた。

こうして被験者は「静かな環境でただ寝ているだけ」という状態に置かれるが、数時間後にはイライラして落ち着きがなくなる。やがて幻覚や幻聴が現れ、独り言を言ったり、口笛を吹いたりするような行動が出た。このような行為は、刺激のない状況下で、なんとか自分で刺激を作り出そうとするからだと解釈されている。

ヘロンは結果を踏まえ「退屈の病理」という言葉を生み出したが、これらの実験は人体に与える影響、。キケン性から現在は禁止されている。

とはいえ、当時行われたいくつもの実験からは、人が正常な心理状態や認知機能を維持するためには刺激が必要であること、また外界からの刺激を得ようとしてみずから働きかけることが明らかになった。

それこそ長い行列に並んでいるようなとき、「何もしないでただ立っている」よりも、タバコを吸ったり、近くの人と話したり、ポケット

トからスマホを取り出したほうが刺激が得られやすい。

もつとも現在では、ところかまわず喫煙はできないし、見ず知らずの他人と気軽に話せるような空気感でもない。単調さや退屈な環境をまぎらわすためには、スマホが最適な方法になり得る。

「人がスマホにのめり込むのは、今の社会環境も関わっているかもしれない。管理が強化され、(注3)不寛容さが強まり、さらにリアルつながりを持ちにくい。私は個人的に、先の三つの要因に加えて、心の居場所のなさも依存を招いていると感じます。現実生活に充実感や満足感を得られない、むしろ不安や閉塞感ばかり募る。そういう現実から逃避したくて、スマホに依存していく面もあるのではないしょうか」

長くアルコールや薬物依存の研究をしてきた廣中氏は、「アルコール依存になる人は、酒が好きなわけではない」と話す。お酒が好きだったたり、おいしいから飲みすぎてしまったりするのではなく、「(Y) こと」が目的だというのだ。

要は、(Y) まで飲んで現実を忘れたい。孤独だったり、(注4)コンプレックスに苛まれていたり、容易に解決できない問題を抱えたりしている、そんな自分を忘れるためには(Y) しかない。

これをスマホやネット利用に当てはめると、真の依存に陥るか、それとも単なる使い過ぎという問題で済むかは、個人の環境や性格傾向、ひいては社会の情勢にも関わってくるのかもしれない。

(石川結貴『スマホ廃人』より 一部改めたところがある)

注1 コマンド……コンピューターに特定の処理を行わせるための命令。

注2 マニュアル……取り扱ひ説明書。

注3 不寛容……心が狭く、他人を厳しくとがめること。

注4 コンプレックス……自分が他より劣っているという感情。劣等感。

(一) 波線部 a～e のカタカナを漢字に直しなさい。

a カンテン      b シンシン      c センモン      d シタガ(って)      e キケン

(一) 傍線部①「『2016年 スマホ依存に関する調査』とあるが、本文で述べられているこの調査から推測されることとして、適切なものを次のア～エの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 調べたいことがあって検索するなど、目的を持ってスマホを使う時間より、ちょっとした「すきま時間」に、なんとなくスマホをいじっている時間の方が長い。

イ 「スマートフォンのかなり依存している」と思っている十代～三十代の割合は半数に満たないものの、中には一日の四分の一以上の時間をスマホに費やしている者もいる。

ウ 「スマートフォンにかなり依存している」と自覚を持っているのは若者に多く、中高年の割合はそこまで高くない。

エ 二十代よりも、三十代の方が、「スマホなしで一日過ごせない」「スマホが身近にないととても不安になる」など、スマホは生活に必要不可欠だととらえている人の割合が多い。

(二) 傍線部②「タバコを使った実験」とあるが、この実験で分かったことの説明として、もっとも適切なものを次のア～エの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア 何かを習慣的に行っている人でも、余計なひと手間が加わるだけで、それを行う頻度が下がるうえに、その手間をかける必要がなくなつたあとも、しばらく対象に関わる頻度が減るということ。

イ 何かを習慣的に行っている人に、それをやめさせるためには、対象に関わることを直接禁止するより、時間のかかるひと手間を要求した方が、長期的に見て有効だということ。

ウ 何かを習慣的に行っている人には、少しの時間しかかからないひと手間でも、わずらわしく感じられるが、その手間をかける必要がなくなると、再び習慣的に対象に関わるようになるということ。

エ 何かを習慣的に行っている人は、依存症の傾向があるが、それを行いたくなる時間や情景、気分を分析すること、対象に関わる頻度を減らすことができるということ。

(四) 傍線部③「スマホが袋を破るだけで簡単につまめるスナック菓子だとしたら、パソコンは堅い殻のついたピスタチオと言える」とあるが、ここで、筆者はどのようなことが言いたいのか。八十字以内で答えなさい。

(五) 傍線部④「スマホなしで一日過ごせない」という思い」とあるが、このような思いはなぜ起こるのか。九十字以内で答えなさい。

(六) 本文中の「X」には、「アフォーダンス」の意味を説明する文が入るが、その説明としてもっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。なお、「X」のあとに続く、例も参考にしたうえで答えなさい。

ア 私たち人間をはじめとする生物が得る「快感」は、神経の情報処理によって作られるのではなく、外界の環境に適応することを放棄して得られるという仮説である。

イ 私たち人間をはじめとする生物が知る外界の「情報」は、神経の情報処理によって作られるのではなく、その時代に支配的なものの見方で捉えられるという仮説である。

ウ 私たち人間をはじめとする生物が知る世界の「意味」は、神経の情報処理によって作られるのではなく、外界の環境の中から与えられるという仮説である。

エ 私たち人間をはじめとする生物が持つ「心」は、神経の情報処理によって作られるのではなく、外界の環境を理解することで形成されるといふ仮説である。

(七) 傍線部⑤「人工的に刺激や感覚を遮断することで人間にどのような影響が出るか」という心理学的な実験」とあるが、この実験からどのようなことが分かったか、六十一字で本文中から探し、はじめと終わりの五字を抜き出しなさい。

(八)本文中に三カ所ある( Y )に入る言葉として、もっとも適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 依存する

イ 酔いがさめる

ウ 体調をくずす

エ 酔いつぶれる

(九)人々がスマホに依存してしまう理由を、本文では何とっているか。文中から四つ探し、それぞれ本文に出てくる順番で抜き出しなさい。なお、一つ目は七字、二つ目は十二字、三つ目は十五字、四つ目は八字で答えなさい。

③の問題は次のページに続きます。(なお、③の問題はすべて横書きで表記されています。)

③ 〈資料Ⅰ〉・〈資料Ⅱ〉を読んで、後の問いに答えなさい。

〈資料Ⅰ〉

銀蘭教会 こども会通信 第3回 2022年3月20日(日)発行

◇◇イースター礼拝・イースターイベントのお知らせ◇◇

◎実施日…2022年3月27日(日)

- ・10:00～ イースター礼拝「復活のよろこび」：ヨハネによる福音書
- ・12:00～ お食事会
- ・13:00～ イースターエッグ作り  
→カラーセロファンやリボンなどで卵をカラフルに飾りつけます！
- ・13:30～ エッグハント  
→礼拝堂やお庭に隠されたイースターエッグを探すゲームです！

◎イースターってなに？

こども会のみんなに「イースターのイメージは？」と聞いてみたところ、「うさぎ」「卵」「外国のイベント」などの声があがりました。どれも正解です！イースターとはキリスト教の伝統行事です。

なので、イースターはキリスト教信者の多い欧米諸国を中心に世界中で毎年お祝いされています。「うさぎ」は「繁栄」、「卵」は「生命」のシンボルです。日本でもここ数年、卵をかたどったおかしや、うさぎのグッズなどがお店に並ぶようになりましたね。

◎イースターエッグとイースターバニー

イースターの日には、イースターバニーといううさぎたちがイースターエッグという卵を持って、人々の家を訪ねてくるという逸話があります。イースターバニーは、[ X ]と信じられているそうです。

まるで、クリスマスイヴの夜にこどもたちに、プレゼントを届けるサンタクロースのようですね。そういった理由から、キリスト教信者のこどもたちは毎年イースターを心待ちにして、できるだけ良い子にしようとするのです。

◎イースターの本当の意味

聖書には、十字架にかけられて処刑されたイエスキリストが、死から復活したという奇跡が記されています。このイエスキリストの復活をお祝いするのが本来のイースターです。

◎イースターっていつなの？

春分の日より後の、最初の満月の日から数えた最初の日曜日がイースターです。

今年の春分の日は3月21日、そのあとの満月の日が4月17日です。4月17日自体が日曜日なので、今年のイースターは4月17日になります。

では、去年のイースターは何月何日だったのでしょか？興味がある人は調べてみよう！

〈資料Ⅱ〉

☆月のカレンダーの説明☆

日付・曜日・国民の祝日などの情報に加えて、  
新月と満月がいつなのかを、毎月のせています。

- ・新月…何も見えない状態の月
- ・満月…完全な丸い形で見える状態の月

2021年 3月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13 新月●
14	15	16	17	18	19	20 春分の日
21	22	23	24	25	26	27
28	29 満月○	30	31			

2021年 4月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 新月●	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27 満月○	28	29 昭和の日	30	

(一) イースターの説明としてもっとも適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 卵型のおかしやうさぎのグッズを買って、家族で平和に感謝する行事である。
- イ 「卵」や「うさぎ」に象徴される生命の繁栄を喜ぶ、世界共通の行事である。
- ウ イエスキリストが死から復活したという奇跡を祝う、キリスト教の行事である。
- エ 日頃の行いを改めて善人になることを世界中の神様に誓う、宗教的行事である。

(二) [ X ]の中に入る言葉としてもっとも適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 神様の使いとして煙突から家に入って卵をどこかに隠し、住人たちがその卵を三日以内に見つけられたら、その家は一年中災害から守られる
- イ 神様の奇跡によって黄金の卵をたくさん産み、夜に煙突から入ってきてその家にいるこどもの数だけ、家のどこかに黄金の卵を隠していく
- ウ 色とりどりに飾られた卵やおかしやおもちゃなどをバスケットに入れて、その年一年間良い子にしていたこどものところに運んでくる
- エ クリスマス以降、動物に優しくしたこどもの家の庭にはプレゼントを隠していき、動物に意地悪をした子どもの家の屋根には卵をぶつけていく

(三) 2021年のイースターは何月何日か。もっとも適切なものを、次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 3月20日    イ 3月21日    ウ 3月27日
- エ 3月29日    オ 4月4日    カ 4月17日

(四) 次のア～エのうち、正しいものには○を、正しくないものには×をそれぞれ書きなさい。ただし、月食等の現象は一切考慮せず、あくまで〈資料Ⅰ〉・〈資料Ⅱ〉から読み取った情報に基づいて解答すること。

- ア イースターの日が三月と四月以外の月になることはない。
- イ イースターの日が日曜日以外の曜日になることはない。
- ウ イースターの日が春分の日と同じ日になることはない。
- エ イースターの日が満月の日になることはない。







①

(一)	a	A	I	III	(八)	IV	II	B	(二)	(三)	一 目	(一)								
													c	C	α	(六)	V	α	C	二 目
d	D	β	D	三 目																

②

(一)	a	(二)	(三)	c	d	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	はじめ	(八)	(九)	一 目	二 目	三 目	四 目															
																				c	d	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	は じ め	(八)	(九)	二 目	三 目	四 目
d	d	(一)	(二)	(三)	(四)	(五)	(六)	(七)	終 わ り	(八)	(九)	四 目	五 目																					

③

(一)	(二)	(三)	(四)
ア			
イ	(二)	(三)	(四)
ウ			
エ	(二)	(三)	(四)
オ			

得点	
受験番号	

令和五年 中入 国語 「前期A・E」 『解答』（120点満点）

①（50点）

- (一) a 幸(い) b 損 c 悪口雑言 d 異議 8点  
(二) 数々 4点  
(三) ①もう ②うれ ③毘だ 4点(完答)  
(四) A 信用 B 同情 C だまさ D 誤解 8点  
(五) I ア II ア 4点  
(六) α 百姓たち β 夕闇 4点  
(七) III はて IV とど V つけ 6点  
(八) イーゼグリムはギーレムントのことを、すなおでむじやきだと評価している。  
それに対して、ライネケはギーレムントのことを、強欲でバカだと評価して  
いる。(72字) 12点

②（50点）

- (一) a 観点 b 心身 c 専門 d 従(つて) e 危険 10点  
(二) イ・エ 4点  
(三) ア 4点  
(四) スマホは手帳で、日常のさまざまな場面で利用しやすいが、パソコンは利用  
するのに一定の手間がかかるため、人々はパソコンよりもスマホに依存しや  
すいということ。 6点  
(五) スマホは日常生活に深くかわるものを一括管理しているうえに、ネットは  
常時つながっているのが当然の認知になっており、それがままならない時、  
私たちは大きな不安を感じてしまうから。 6点  
(六) ウ 5点  
(七) 人が正常なくかけること 4点  
(八) エ 3点  
(九) 一つ目 手帳であること／二つ目 身体感覚とマッチすること 2点×4  
三つ目 感覚への刺激が得られやすいこと／四つ目 心の居場所のなさ 2点×4

③（20点）

- (一) ウ 4点  
(二) ウ 4点  
(三) オ 4点  
(四) ア ○ イ ○ ウ ○ エ × 2点×4